

令和6年度

単価契約仕様書

名称 路面電車軌道施設点検・保全業務（②単価）

特定の場合

その業者名 _____

路面電車軌道施設点検・保全業務(②単価)

の業務価格入札について

- 1 入札は諸経費を含んだ金額で行う。
- 2 入札工種価格（契約単価）は消費税相当額を含めず計上すること。
- 3 入札は単価内訳表のガードレール撤去・復旧工（夜間軌道内）（1m当たり）のみを対象に行う。各工種の契約単価はガードレール撤去・復旧工（夜間軌道内）契約単価の策定係数を1.00とした各策定係数に基づいて契約することとする。よって全工種に対する入札は行わない。策定係数については小数第3位切り捨てとし、契約単価は1円未満切り捨てとする。

業 務 仕 様 書

1. 業務の目的

本業務は、軌道狂い及び軌道施設に異常が発生した場合への対応やレール継目の亀裂・落ち及びレールの損傷・摩耗を溶接補修することで、電車の安全走行の確保を図ることを目的とする。

2. 業務の内容

(1) 軌道整正工

揺れによる乗り心地不良箇所や、通り・高低・水準・平面性の狂い量が軌道狂い値に達する、または達するおそれがある箇所について、道床突固め作業などにより、軌道狂い値が整備目標値となるよう整正する。なお、軌道整正時には必要に応じて、軌道検査マニュアルに基づき検査を実施する。

(2) ガードレール撤去・復旧工

本線レールとガードレールの締結が緩んでいる箇所についてガードレールを一旦撤去し整備をして再設置を行う。間隔材、ゴムシユート等軌道材料の損傷が見受けられる場合は材料の交換作業を実施する。材料は委託者より支給する。本作業は(1)軌道整正工の実施に合わせて必要に応じて実施する。

(3) レール交換工

レール頭部の摩耗が、基準値に達したもの、または達するおそれのある箇所、あるいは一般車両の横断等により多くの損傷・摩耗が見受けられる箇所について、レール交換を実施する。材料は委託者より支給する。本作業は(1)軌道整正工の実施に合わせて必要に応じて実施する。

(4) 犬釘増打ち工

軌道狂いが頻繁に発生する箇所について、犬釘の増し打ちを実施する。材料は委託者より支給する。本作業は(1)軌道整正工の実施に合わせて必要に応じて実施する。

(5) 継目部緩み修繕工

継目部のボルトが緩んでいる箇所について、ボルトの締め直しを行う。施設の損傷が大きい場合は材料の交換を実施する。材料は委託者より支給する。

(6) 排水柵修繕工

軌道敷内の排水柵において、損傷が見受けられる箇所についてモルタル等で修繕を行う。モルタル等の材料は受託者で用意するものとする。

(7) 蓋交換工

軌道敷内の排水柵上部のグレーチング蓋について損傷が見受けられるものについて交換を行う。蓋の材料は受託者で用意するものとする。

(8) 軌道敷排水柵高さ調整工

軌道敷内の排水柵において高さ等の調整を行う。損傷等により交換が必要となった場合材料は委託者より支給する。

(9) トングレール点検整備工

分岐器のトングレールについて、分解点検整備を行う。材料の交換が必要となった場合材料は委託者より支給する。

(10) 継目亀裂補修・継目落ち補修工

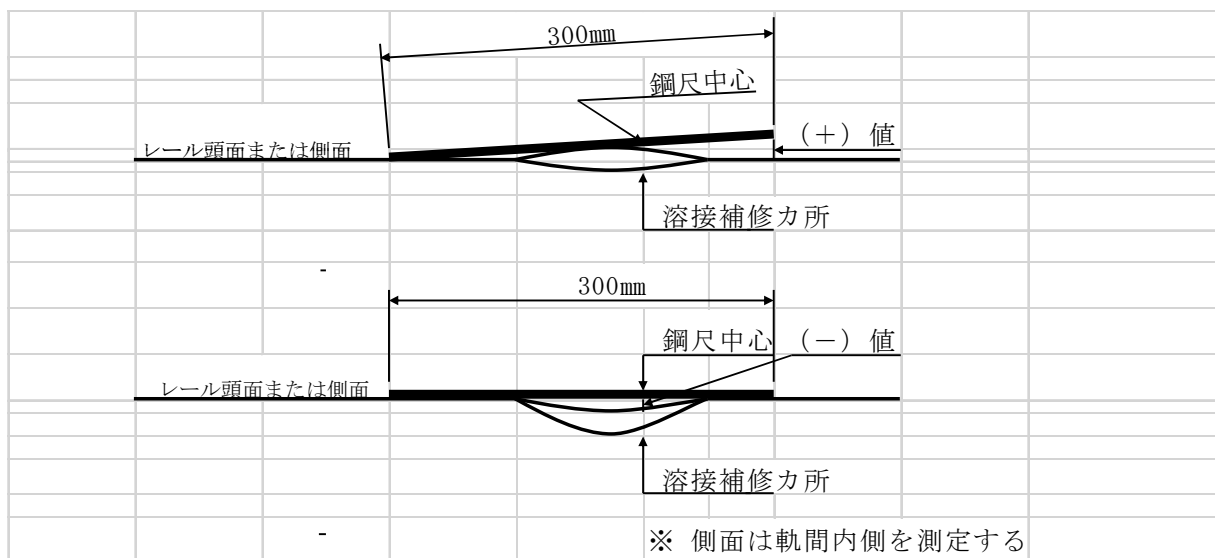
- ① 補修は、レール頭部とする。
- ② アセチレンガス等により補修箇所の開先を確保した後に、アーク溶接により補修箇所の幅以上に余盛り溶接し、グラインダー等により余盛りを削正して平坦に仕上げる。
- ③ 開先部にスラグがある場合は、溶接前にスラグを除去する。
- ③ アーク溶接により補修箇所の幅及び長さ以上に肉盛り溶接を行い、グラインダー等により余盛りを削正して平坦に仕上げる。

(11) 損傷・摩耗補修工

アーク溶接により補修箇所の幅及び長さ以上に肉盛り溶接を行い、グラインダー等により余盛りを削正して平坦に仕上げる。

特記事項

- ① 溶接棒は、被覆アーク溶接棒（JIS Z 3211：2008）を使用する。
- ② 溶接は乾燥した状態で行い、溶接後は水や油等により急冷してはならない。
- ③ 補修箇所の開先確保、溶接及び削正作業は、周囲を囲って行う。
- ④ アーク溶接は、労働安全衛生法第59条第3項に定める特別な教育を受けた者以外は行ってはならない。
- ⑤ グラインダー等の研削機械の砥石取替え及び取替え時の試運転は、労働安全衛生法第59条第3項に定める特別な教育を受けた者以外は行ってはならない。
- ⑥ (10)、(11)の仕上がりについては下図により測定し、許容値は $\pm 0.5\text{mm}$ とする。



(12) 舗装補修

軌道整正工で行った舗装箇所以外において、整正箇所と連続して舗装破損が著しい箇所の舗装修繕を行う。補修箇所については当社と協議のこと。

(13) 現地調査点検工

軌道施設における緊急を要する調査・点検を行う。

(3) 舗装切断時に発生する濁水の処理について、請負者は、舗装切断作業を行いながら濁水を吸引のうえ、タンク等に貯留し、作業後速やかに濁水を処理施設へ運搬し処分する。

請負者は、濁水を処理する業者を、産業廃棄物の汚泥の中間処分業の許可を得ており産業廃棄物管理票（マニフェスト）にて管理できるものから選定する。

建設副産物分類				処理施設名	施設の所在・連絡先	受入条件
建設 廃棄物	産業 廃棄物	汚泥	中間 脱水 (埋立)	(株)公清企業 (エコパーク)	東) 中沼町45-23 Tel792-3770	・有機、無機 ・受入条件については、確認を要する。 ※中間処理施設、最終処理(埋立等)は別事業者に委託

6. 排出ガス対策型建設機械の使用

本業務において以下に示す建設機械を使用する場合は、建設省「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械及び、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」またはこれと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用するものとする。ただし、道路運送車両法の保安基準に排出ガス基準が定められている自動車の種別で有効な自動車検査証の交付を受けているものは除く。

業務主任は、作業現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、委託者担当係員に提出するものとする。なお、これにより難しい場合は、委託者担当係員と協議するものとする。

対象機械	型式	備考
・バックホウ	油圧ホイール型	ディーゼルエンジン(エンジン出力 7.5kw以上 260kw以下)を搭載した建設機械に限る。 ただし、道路運送車両法による排ガス規制を受けている建設機械は除く。
・トラクターショベル	ホイール型	
・発動発電機	可搬式、溶接兼用を含む	

7. 安全対策等

- (1) 現場での業務は、一般車両及び電車等の通行に十分注意するとともに、必要に応じて安全施設及び交通誘導警備員を適正に配置すること。作業に従事するものは安全チョッキを身につけること。また、電車の接近は交通誘導警備員による見張り及び運行ダイヤ等により確認し、作業時における安全を確保すること。
- (2) 業務により施設に損害を与えた場合は、速やかに原形に復旧するとともに当社に報告すること。
- (3) 保守点検時以外のポイント転換作業は行わないこと。
- (4) 業務中の事故等については、受託者の責において解決すること。
- (5) 受託者は、利用客等の誤解をまねかないよう言動に注意すること。
- (6) 受託者は、清潔な服装を着用し、利用客等に不快感を与えないよう配慮すること。
- (7) 業務従事者は、委託者発注業務の受託者であることを明確にするため、業務中は腕章を着用すること。

路面電車軌道施設点検・保全業務責任者 会 社 名

路面電車軌道施設点検・保全業務員 会 社 名

8. 業務主任の選任

業務主任は、原則総価契約と同一人物とし、変更する場合は総価契約仕様書と同一の書類を提出のこと。

9. 法令遵守（コンプライアンス）の徹底

受託業務の実施にあたっては、法令違反または不適切行為を防止するため法令及び作業ルール等の遵守を徹底すること。

10. 関係法令等の周知徹底について

- (1) 軌道建設規定・軌道運転規則・整備心得・整備マニュアル・軌道敷内事故防止マニュアル等の周知について

管理者（現場管理者含む）、検査実施者（補助者除く）の全員に、軌道建設規定・軌道運転規則・整備心得・整備マニュアル・軌道敷内事故防止マニュアル等の関係法令等を周知するものとする。

また、一部を外部に委託（再委託）する場合も、委託先の管理者（現場管理者含む）、検査実施者（補助者除く）の全員に同様の周知をさせること。

- (2) 周知記録「技術基準・実施基準等の周知結果報告書」の提出について

周知の実施後は、会社名、契約件名、対象者の氏名及び役割（管理者、設計者、検査実施者）を明記し、日時・場所と具体的な周知内容、周知方法を記載した記録「技術基準・実施基準等の周知結果報告書」を作成し、委託者に速やかに提出すること。

また、再委託先の周知結果の報告についても、同様とする。

- (3) 業務に関して作成した記録は、受託者で保管（再受託先を含む）すること。
(4) 周知の実施時期については、対象者がその業務を実施する前に行うこと。

11. 個人情報の提供の制限について

- (1) 受託業務に従事している者若しくは従事していた者は、その業務で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。
(2) 受託者は、個人情報を取り扱う業務の全部又は一部を、第三者に委託又は請け負わせてはならない。
(3) 受託者は、個人情報の複写及び複製を行ってはならない。
(4) 受託者は、受託業務を履行するために公社から引き渡された個人情報及び受託業務履行のために自ら収集した個人情報をその目的の範囲内において使用しなければならない。
(5) 受託者は、受託した業務で収集・使用した個人情報は、業務終了後に委託者に返還しなければならない。ただし、委託者から廃棄の指示があった場合は、速やかに廃棄しなければならない。
(6) 受託者は、受託した業務で使用している個人情報の紛失等の事故が発生した場合は、速やかに委託者に報告し、最善の方策を講じなければならない。

(7) 受託者は、契約書等の各条項に違反したときは、契約解除等をするものとし、委託者が被った損害については賠償しなければならない。

12. 提出書類

- (1) 作業日誌 作業日毎
- (2) 業務完了届
- (3) 業務完了書類（2部） 施工写真、出来高表等の業務履行確認資料
- (4) 支給品受領書・返納書
- (5) 各測定及び点検結果（2部）
軌道仕上がり、レール面仕上がり（継目亀裂、継目落ち補修箇所）
- (6) 現場発生品調書

13. 業務代金の支払い

業務終了後受託者が業務完了届を提出し、委託者が行う検査に合格した後、発注単位毎に支払うこととする。

14. その他

仕様書に定めがない事項または疑義が生じた場合は、委託者担当係員と協議すること。

業務完了届

令和 年 月 日

一般財団法人札幌市交通事業振興公社
理事長 藤井 透 様

住所
受託者 会社名
代表者名 印

業務名 _____

上記業務は、令和 年 月 日に完了いたしましたのでお届けします。

受付	令和 年 月 日			完了を確認した職員 (氏名) 印
課長	係長	主任	係	この業務の完了検査に係る検査員に下記の者を命じ、 令和 年 月 日に検査を実施してよろしい でしょうか。 検査員
課長	係長	主任	係	業務完了検査報告書 令和 年 月 日 検査員 印 立会人 印
上記業務の検査結果は、次のとおりであったので報告いたします。				
契約金額	円(税込)		契約年月日	令和 年 月 日
着手年月日	令和 年 月 日		完了年月日	令和 年 月 日
検査年月日	令和 年 月 日		検査結果	<input type="checkbox"/> 合格 <input type="checkbox"/> 不合格
備考				

作 業 日 誌 【路面電車軌道施設点検・保全業務 指示第 号】

下記のとおり、作業を実施しましたので報告します。

記

履 行 期 間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日

作 業 月 日 令和 年 月 日 () 天候

No	項 目	単 位	数 量	累 計 数 量

備考・作業場所等

委託者 業務主任 ㊟

受託者 業務主任 ㊟

作 業 月 日 令和 年 月 日 () 天候

No	項 目	単 位	数 量	累 計 数 量

備考・作業場所等

委託者 業務主任 ㊟

受託者 業務主任 ㊟

業務委託費内訳書

工種 / 種別 / 細別	単位	数量	単価	金額	摘要
業務価格					
軌道施設点検・保全	式	1			第1号内訳書
安全費(交通誘導警備員)	式	1			第2号内訳書
直接業務費計					
共通管理費	式	1			
純業務費					
現場管理費	式	1			
業務原価					
一般管理費	式	1			
業務価格					
消費税等相当額 10.00%	式	1			
業務委託費					

軌道施設点検・保全内訳書

一金 _____ 円

第 1 号内訳書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
軌道整正工	夜間	m	100			一次単算No.1
	一般部37kgレール					
軌道整正工	夜間	m	20			一次単算No.2
	交差点部37kgレール					
軌道整正工	夜間	組	2			一次単算No.3
	分岐部37kgレール					
軌道整正工	夜間	m	10			一次単算No.4
	一般部・交差点部50Nレール					
軌道整正工	夜間	組	1			一次単算No.5
	分岐部50Nレール					
軌道整正工	昼間	m	10			一次単算No.6
	構内					
ガードレール撤去・復旧工	夜間	m	50			一次単算No.7
レール交換工	夜間 運搬含む	m	10			一次単算No.8
犬釘増打ち工	夜間	m	150			一次単算No.9
継目部緩み修繕工	夜間 37kgレール	箇所	5			一次単算No.10
継目部緩み修繕工	夜間 50Nレール	箇所	5			一次単算No.11
排水柵修繕工	夜間 材料費含む	箇所	9			一次単算No.12
蓋交換工	夜間 材料費含む	箇所	2			一次単算No.13
軌道敷排水柵高さ調整工	夜間	箇所	1			一次単算No.14
トングレール点検整備工	夜間	回	12			一次単算No.15
継目(亀裂・落ち)補修工	夜間 材料費・損料含む	箇所	110			一次単算No.16
損傷・摩耗補修工	夜間 材料費・損料含む	箇所	200			一次単算No.17
舗装補修工	夜間 一般部37kgレール (軌道整正外)	m2	5			一次単算No.18
舗装補修工	夜間 交差点部37kgレール (軌道整正外)	m2	5			一次単算No.19
舗装補修工	夜間 一般部・交差点部50Nレール (軌道整正外)	m2	5			一次単算No.20
舗装補修工	昼間 構内 (軌道整正外)	m2	50			一次単算No.21
現地調査点検工	夜間	回	6			一次単算No.22
合 計						

令和6年度

路面電車軌道施設点検・保全業務

(単価内訳表)

No.	名 称	規格・形質		単位	数量	直接業務費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費	設計単価	策定係数	設計単価×数量	備 考
1	軌道整正工	夜間	一般部37kgレール	m	100						5.85		
2	軌道整正工	夜間	交差点部37kgレール	m	20						6.77		
3	軌道整正工	夜間	分岐部37kgレール	組	2						97.66		
4	軌道整正工	夜間	一般部・交差点部50Nレール	m	10						7.33		
5	軌道整正工	夜間	分岐部50Nレール	組	1						106.66		
6	軌道整正工	昼間	構内	m	10						3.82		
7	ガードレール撤去・復旧工	夜間		m	50						1.00		基準単価
8	レール交換工	夜間	運搬含む	m	10						1.16		
9	犬釘増打ち工	夜間		m	150						0.06		
10	継目部緩み修繕工	夜間	37kgレール	箇所	5						0.80		
11	継目部緩み修繕工	夜間	50Nレール	箇所	5						0.90		
12	排水柵修繕工	夜間	材料費含む	箇所	9						1.34		
13	蓋交換工	夜間	材料費含む	箇所	2						4.59		
14	軌道敷排水柵高さ調整工	夜間		箇所	1						7.94		
15	トングレーール点検整備工	夜間		回	12						9.40		
16	継目(亀裂・落ち)補修工	夜間	材料費・損料含む	箇所	110						2.97		
17	損傷・摩耗補修工	夜間	材料費・損料含む	箇所	200						1.36		
18	舗装補修工	夜間	一般部37kgレール (軌道整正外)	m2	5						2.46		
19	舗装補修工	夜間	交差点部37kgレール (軌道整正外)	m2	5						2.85		
20	舗装補修工	夜間	一般部・交差点部50Nレール (軌道整正外)	m2	5						3.15		
21	舗装補修工	昼間	構内 (軌道整正外)	m2	50						1.76		
22	現地調査点検工	夜間		回	6						2.22		
23	交通誘導警備員B	夜間		人	68						4.29		
24	交通誘導警備員B	昼間		人	2						2.86		
25	交通誘導警備員A	夜間		人	2						5.19		
26	交通誘導警備員A	昼間		人	1						3.46		

計 業務価格

消費税(10%)

業務委託費

諸経費補正率算出調書(軌道施設点検・保全業務)

1 共通仮設費率の補正

No	項目	内容	適用	備考
1	現場環境改善費	(1) 仮設備関係に係る費用	×	
		(2) 営繕関係に係る費用	×	
		(3) 安全関係に係る費用	×	
		(4) 地域連携に係る費用	×	
2	運搬費	(1) 建設機械器具の運搬等に要する費用	○	
		(2) 鋼桁、門扉等工場製作品の運搬(直接工事費に計上)	×	
		(3) (1)、(2)に掲げるもののほか、工事施工上必要な建設機械器具の運搬等に要する費用	○	
		(4) 建設機械等の運搬基地	○	
3	準備費	(1) 準備及び後片付けに要する費用	○	
		(2) 調査・測量、丁張等に要する費用	○	
		(3) 準備として行う伐開、除根、除草、整地、段切り、すりつけ等に要する費用	×	
		(4) (1)～(3)に掲げるもののほか、工事施工上必要な費用	○	
4	事業損失防止施設費	(1) 工事施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等に起因する事業損失を未然に防止するための仮施設の設置費、撤去費及び当該仮施設の維持管理等に要する費用	×	
		(2) 事業損失を未然に防止するために必要な調査等に要する費用	×	
5	安全費	(1) 安全施設等に要する費用	○	
		(2) 安全管理等に要する費用	○	
		(3) (1)から(2)に掲げるもののほか、工事施工上必要な安全対策に要する費用	○	
6	役務費	(1) 土地の借上げ等に要する費用	×	
		(2) 電力、用水等の基本料	×	
		(3) 電力設備用工事負担金	×	
7	技術管理費	(1) 品質管理のための試験等に要する費用	×	
		(2) 出来形管理のための測量等に要する費用	○	
		(3) 工程管理のための資料の作成等に要する費用	○	
		(4) (1)から(3)に掲げるもののほか、技術管理上必要な資料の作成に要する費用	×	
8	営繕費	(1) 現場事務所、試験室等の営繕に要する費用	×	
		(2) 労働者宿舎の営繕に要する費用	×	
		(3) 倉庫及び材料保管場の営繕に要する費用	○	
		(4) 労務者の輸送に要する費用	○	
		(5) 上記(1)～(3)に係る土地・建物の借上げに要する費用	×	
		(6) 監督員詰所及び火薬庫の営繕に要する費用	×	
		(7) (1)～(6)に掲げるもののほか工事施工上必要な営繕に要する費用	×	
適用項目による補正		31項目中13項目適用 13/31=0.41935⇒ 41.94%		41.94%
施工地域等の補正		大都市補正(道路維持工事)		1.5

2 現場管理費率の補正

No	項目	内 容	適用	備考
1	労務管理費	(1)募集及び解散に要する費用	○	
		(2)慰安、娯楽及び厚生に要する費用	○	
		(3)直接工事費及び共通仮設費に含まれない作業用具及び作業用被服の費用	○	
		(4)賃金以外の食事、通勤等に要する費用	○	
		(5)労災保険法等による給付以外に災害時に事業主が負担する費用	○	
2	安全訓練等に要する費用	現場労働者の安全・衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用	○	
3	租税公課	固定資産税、自動車税、軽自動車税等の租税公課	○	
4	保険料	(1)自動車保険(機械器具等損料に計上された保険料は除く)	○	
		(2)工事保険、組立保険、法定外の労災保険、火災保険の保険料	○	
		(3)その他の損害保険の保険料	○	
5	従業員給料手当	現場従業員の給料、諸手当及び賞与	○	
6	退職金	現場従業員に係る退職金及び退職給与引当金繰入額	○	
7	法定福利費	現場従業員及び現場労働者に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額並びに建設業退職金共済制度に基づく事業主負担額	○	
8	福利厚生費	現場従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等福利厚生、文化活動等に要する費用	○	
9	事務用品費	事務用消耗品、新聞、参考書等の購入費	×	
10	通信交通費	通信費、交通費及び旅費	△	0.5計上
11	交際費	現場への来客等の対応に要する費用	×	
12	補償費	工事施工に伴って通常発生する物件等の毀損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による事業損失に係る補償費。	△	0.5計上
13	外注経費	工事施工を専門工事業者等に外注する場合に必要な経費	×	
14	工事登録等に要する費用	工事实績等の登録等に要する費用	×	
15	動力・用水光熱費	現場事務所、試験室、労働者宿舎、倉庫及び材料保管庫で使用する電力、用水、ガス等の費用	×	
16	公共事業労務費調査に要する費用		×	
17	雑費	1～16までに属さない諸費用	○	
適用項目による補正		23項目中16項目適用 16/23=0.69565 ⇒ 69.57%		69.57 %
施工地域等の補正		大都市補正(道路維持工事)		1.2

3 一般管理費率の補正

No	項目	内容	適用	備考
1	役員報酬	取締役及び監査役に対する報酬	○	
2	従業員給料手当	本店及び支店の従業員に対する給料、諸手当及び賞与	○	
3	退職金	退職給与引当金繰入額並びに退職給与引当金の対象とならない役員及び従業員に対する退職金	○	
4	法定福利費	本店及び支店の従業員に関する労災保険料、雇用保険料、健康保険料及び厚生年金保険料の法定の事業主負担額	○	
5	福利厚生費	本店及び支店の従業員に係る慰安娯楽、貸与被服、医療、慶弔見舞等、福利厚生等、文化活動等に要する費用	○	
6	修繕維持費	建物、機械、装置等の修繕維持費、倉庫物品の管理費等	○	
7	福利厚生費	事務用消耗品費、固定資産に計上しない事務用備品費、新聞、参考図書等の購入費	○	
8	通信交通費	通信費、交通費及び旅費	○	
9	動力、用水光熱費	電力、水道、ガス、薪炭等の費用	△	0.5計上
10	調査研究費	技術研究、開発等の費用	△	0.5計上
11	広告宣伝費	広告、公告、宣伝に要する費用	○	
12	交際費	本店及び支店などへの来客等の対応に要する費用	○	
13	寄付金		○	
14	地代家賃	事務所、寮、社宅等の借地借家料	○	
15	減価償却費	建物、車輛、機械装置、事務用備品等の減価償却額	○	
16	試験研究費償却	新製品又は新技術の研究のため特別に支出した費用の償却額	×	
17	開発費償却	新技術又は新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓のため特別に支出した費用の償却額	×	
18	租税公課	不動産取得税、固定資産税等の租税及び道路占用料、その他の公課	○	
19	保険料	火災保険その他の損害保険料	○	
20	契約保障費	契約の保障に必要な費用	×	
21	雑費	電算等経費、社内打合せ等の費用、学会及び協会活動等諸団体会費等の費用	○	
	適用項目による補正	21項目中17項目適用 $17/21=0.80952 \Rightarrow 80.95\%$		80.95 %
	前払金に対する補正	計上しない		0.0%
	契約保証に係る補正	補正しない		0.0%

4 業務委託費算出(諸経費の算出)

直接業務費	0			
	通常経費	補正率	補正值	補正後
共通仮設費率				
現場管理費率				
一般管理費率				

共通仮設費率	直接業務費		
	工種区分: 道路維持工事		
	共通仮設費率		
	補正	共通仮設費率	補正率 補正共通仮設費率

現場管理費率	純業務費		
	工種区分: 道路維持工事		
	共通仮設費率 $J_0 = 631.2 \times$	$0^{-0.1622}$	$= 0.00 \%$
	補正	共通仮設費率	補正率 補正現場管理費率

一般管理費率	業務原価		
	共通仮設費率		
	補正	共通仮設費率	補正率 補正一般管理費率

	金額
直接業務費	
共通仮設費率	
共通仮設費	
純業務費	
現場管理費率	
現場管理費	
業務原価	
一般管理費率	
一般管理費	
業務価格	
消費税率	
消費税相当額	
業務委託価格	

一 次 単 価 算 出 調 書

番号	細 目	単位	単 価	算 出 の 基 礎			摘 要		
1	(夜間) 軌道整正工 (一般部、37kgレール)	m	円	舗装版切断工	218	m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.22
				泥水処理工	218	m ×	円 =	円	二次単算 No.24
				舗装版破砕工	229	m ² ×	円 =	円	15cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.26
				殻運搬	21	m ³ ×	円 =	円	舗装版破砕 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.28
				アス殻処理費	48.30	t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 夜間 市場単価
				床掘り	9	m ³ ×	円 =	円	土砂 現場制約あり 二次単算 No.30
				上層道床バラスト工	9	m ³ ×	円 =	円	補充砕石有、器具損料含む 二次単算 No.16
				通り整正工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.1
				むら直し工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.5
				軌間整正工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.6
				道床突き固め工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.10
				表層(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=4cm 再生細粒度(13) (100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.31
				基層(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=5cm 再生粗粒度(20) (50%) アスファルト乳剤 二次単算 No.32
				端数処理	1 式		=	円	
計	(100m当り)			円					
	(1m当りの単価)			円					
2	(夜間) 軌道整正工 (交差点部、37kgレール)	m	円	舗装版切断工	218	m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.22
				泥水処理工	218	m ×	円 =	円	二次単算 No.24
				舗装版破砕工	229	m ² ×	円 =	円	15cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.26
				殻運搬	30	m ³ ×	円 =	円	舗装版破砕 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.28
				アス殻処理費	69.00	t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 夜間 市場単価
				通り整正工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.1
				むら直し工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.5
				軌間整正工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.6
				道床突き固め工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.10
				表層(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=4cm 再生細粒度(13) (100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.31
				基層(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=4cm 再生粗粒度(20) (50%) アスファルト乳剤 二次単算 No.33
				上層路盤(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=5cm As安定処理材(30) (100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.35
				端数処理	1 式		=	円	
				計	(100m当り)			円	
	(1m当りの単価)			円					
3	(夜間) 軌道整正工 (分岐部、37kgレール)	組	円	舗装版切断工	23	m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.22
				泥水処理工	23	m ×	円 =	円	二次単算 No.24
				舗装版破砕工	21	m ² ×	円 =	円	10cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.26
				殻運搬	2	m ³ ×	円 =	円	舗装版破砕 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.28
				アス殻処理費	4.60	t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 夜間 市場単価
				床掘り	1	m ³ ×	円 =	円	土砂 現場制約あり 二次単算 No.30
				上層道床バラスト工	1	m ³ ×	円 =	円	補充砕石有、器具損料含む 二次単算 No.16
				通り整正工(分岐部)	1	組 ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.3
				軌間整正工(分岐部)	1	組 ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.8
				道床突き固め工(分岐部)	1	組 ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.11
				表層(車道・路肩部)	22	m ² ×	円 =	円	t=4cm 再生細粒度(13) (100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.31
				基層(車道・路肩部)	22	m ² ×	円 =	円	t=5cm 再生粗粒度(20) (50%) アスファルト乳剤 二次単算 No.32
				端数処理	1 式		=	円	
				計				円	

一 次 単 価 算 出 調 書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要		
4	(夜間) 軌道整正工 (一般部・交差点部、50Nレール)	m	円	舗装版切断工	218	m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.22
				泥水処理工	218	m ×	円 =	円	二次単算 No.24
				舗装版破砕工	229	m ² ×	円 =	円	10~15cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.26
				殻運搬	34	m ³ ×	円 =	円	舗装版破砕 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.28
				アス殻処理費	78.20	t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 夜間 市場単価
				通り整正工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.2
				むら直し工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.5
				軌間整正工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.7
				道床突き固め工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.10
				表層(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=4cm 再生細粒度(13)(100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.31
				基層(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=5cm 再生粗粒度(20)(50%) アスファルト乳剤 二次単算 No.32
				上層路盤(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=6cm As安定処理材(30)(100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.34
				端数処理	1	式	=	円	
				計 (100m当り)				円	
	(1m当りの単価)			円					
5	(夜間) 軌道整正工 (分岐部、50Nレール)	組	円	舗装版切断工	23	m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.22
				泥水処理工	23	m ×	円 =	円	二次単算 No.24
				舗装版破砕工	21	m ² ×	円 =	円	10cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.26
				殻運搬	2	m ³ ×	円 =	円	舗装版破砕 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.28
				アス殻処理費	4.60	t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 夜間 市場単価
				床堀り	1	m ³ ×	円 =	円	土砂 現場制約あり 二次単算 No.30
				上層道床バラスト工	1	m ³ ×	円 =	円	補充砕石有、器具損料含む 二次単算 No.16
				通り整正工(分岐部)	1	組 ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.4
				軌間整正工(分岐部)	1	組 ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.9
				道床突き固め工(分岐部)	1	組 ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.11
				表層(車道・路肩部)	22	m ² ×	円 =	円	t=4cm 再生細粒度(13)(100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.31
				基層(車道・路肩部)	22	m ² ×	円 =	円	t=5cm 再生粗粒度(20)(50%) アスファルト乳剤 二次単算 No.32
				端数処理	1	式	=	円	
				計				円	
6	(昼間) 軌道整正工 (構内)	m	円	舗装版切断工	218	m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.21
				泥水処理工	218	m ×	円 =	円	二次単算 No.23
				舗装版破砕工	229	m ² ×	円 =	円	10cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.25
				殻運搬	21	m ³ ×	円 =	円	舗装版破砕 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.27
				アス殻処理費	48.30	t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 昼間 市場単価
				床堀り	18	m ³ ×	円 =	円	土砂 現場制約あり 二次単算 No.29
				上層道床バラスト工	18	m ³ ×	円 =	円	補充砕石有、器具損料含む 二次単算 No.15
				通り整正工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.17
				むら直し工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.18
				軌間整正工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.19
				道床突き固め工	100	m ×	円 =	円	器具損料含む 二次単算 No.20
				表層(車道・路肩部)	230	m ² ×	円 =	円	t=5cm 再生密粒度(13)(50%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.36
				端数処理	1	式	=	円	
				計 (100m当り)				円	
	(1m当りの単価)			円					
7	(夜間) ガードレール 撤去・復旧工	m	円	軌道工	0.10	人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1	式	=	円	
				計				円	

一 次 単 価 算 出 調 書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要	
8	(夜間) レール交換工	m	円	レール交換工	100 m ×	円 =	円	二次単算 No.12
				レール頭部溶接工	18箇所 ×	円 =	円	二次単算 No.13
				仮設材の運搬	3.72 t ×	円 =	円	D=10km未満 製品長12m以内 冬期割増なし 深夜早朝割増 片道
				仮設材の積込み取卸し費	3.72 t ×	円 =	円	往復
				端数処理	1式	=	円	
				計	(100m当り)	=	円	
				(1m当りの単価)		=	円	
9	(夜間) 犬釘増打ち工	m	円	軌道工	0.70 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1式	=	円	
				計	(100m当り)	=	円	
				(1m当りの単価)		=	円	
10	(夜間) 継目部緩み修繕工 (37kg レール)	箇所	円	軌道工	0.80 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1式	=	円	
				計	(10箇所当り)	=	円	
				(1箇所当りの単価)		=	円	
11	(夜間) 継目部緩み修繕工 (50N レール)	箇所	円	軌道工	0.90 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1式	=	円	
				計	(10箇所当り)	=	円	
				(1箇所当りの単価)		=	円	
12	(夜間) 排水柵修繕工	箇所	円	断面修復工	0.01 m3 ×	円 =	円	二次単算 No.14
				端数処理	1式	=	円	
				計		=	円	
13	(夜間) 蓋交換工	箇所	円	側溝蓋撤去・設置	1 枚 ×	円 =	円	蓋版交換 40~80kg/枚 二次単算 No.37
				グレーチング蓋	1 枚 ×	円 =	円	札幌市1型溜め柵用 470×470×61 T-25 普通目 R5.12建設物価・積算資料
				端数処理	1式	=	円	
				計		=	円	
14	(夜間) 軌道敷排水柵 高さ調整工	箇所	円	軌道工	2.10 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				普通作業員	6.40 人 ×	円 =	円	
				I型溜柵上部	10.00 個 ×	円 =	円	
				諸雑費(率+まるめ)	1式	=	円	労務費×5%
				計	(10箇所当り)	=	円	
				(1箇所当りの単価)		=	円	
15	(夜間) トングレール点検 整備工	回	円	軌道工	9.40 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1式	=	円	
				計	(10箇所当り)	=	円	
				(1箇所当りの単価)		=	円	
16	(夜間) 継目(亀裂、落ち) 補修工	箇所	円	土木一般世話役	0.70 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				溶接工	1.30 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	1.30 人 ×	円 =	円	
				電気溶接機運転	2 日 ×	円 =	円	三単算 No.1
				諸雑費(率+まるめ)	1式	=	円	労務費×5%
				計	(10箇所当り)	=	円	
				(1箇所当りの単価)		=	円	
17	(夜間) 損傷・摩耗補修工	箇所	円	土木一般世話役	0.30 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				溶接工	0.60 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.60 人 ×	円 =	円	
				電気溶接機運転	1 日 ×	円 =	円	三単算 No.1
				諸雑費(率+まるめ)	1式	=	円	労務費×5%
				計	(10箇所当り)	=	円	
(1箇所当りの単価)		=	円					

一次単価算出調書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要	
18	(夜間) 舗装補修工 (一般部、37kgレール)	m2	円	舗装版切断工	4 m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.22
				泥水処理工	4 m ×	円 =	円	二次単算 No.24
				舗装版破碎工	1 m2 ×	円 =	円	15cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.26
				殻運搬	0.08 m3 ×	円 =	円	舗装版破碎 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.28
				アス殻処理費	0.18 t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 夜間 市場単価
				上層道床バラスト工	0.05 m3 ×	円 =	円	補充砕石有、器具損料含む 二次単算 No.16
				表層(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=4cm 再生細粒度(13)(100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.31
				基層(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=5cm 再生粗粒度(20)(50%) アスファルト乳剤 二次単算 No.32
				端数処理	1 式	=	円	
	計		円					
19	(夜間) 舗装補修工 (交差点部、37kgレール)	m2	円	舗装版切断工	4 m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.22
				泥水処理工	4 m ×	円 =	円	二次単算 No.24
				舗装版破碎工	1 m2 ×	円 =	円	15cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.26
				殻運搬	0.08 m3 ×	円 =	円	舗装版破碎 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.28
				アス殻処理費	0.08 t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 夜間 R5.12札幌市単価
				表層(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=4cm 再生細粒度(13)(100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.31
				基層(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=4cm 再生粗粒度(20)(50%) アスファルト乳剤 二次単算 No.33
				上層路盤(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=5cm As安定処理材(30)(100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.35
				端数処理	1 式	=	円	
	計		円					
20	(夜間) 舗装補修工 (一般部・交差点部50Nレール)	m2	円	舗装版切断工	4 m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.22
				泥水処理工	4 m ×	円 =	円	二次単算 No.24
				舗装版破碎工	1 m2 ×	円 =	円	10~15cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.26
				殻運搬	0.13 m3 ×	円 =	円	舗装版破碎 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.28
				アス殻処理費	0.299 t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 夜間 R5.12札幌市単価
				表層(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=4cm 再生細粒度(13)(100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.31
				基層(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=5cm 再生粗粒度(20)(50%) アスファルト乳剤 二次単算 No.32
				上層路盤(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=6cm As安定処理材(30)(100%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.34
				端数処理	1 式	=	円	
	計		円					
21	(昼間) 舗装補修工 (構内)	m2	円	舗装版切断工	4 m ×	円 =	円	アスファルト舗装版 t=15cm以下 二次単算 No.21
				泥水処理工	4 m ×	円 =	円	二次単算 No.23
				舗装版破碎工	1 m2 ×	円 =	円	10cm以下 障害物無し 騒音対策不要 積込作業有 二次単算 No.25
				殻運搬	0.05 m3 ×	円 =	円	舗装版破碎 機械(騒音不要・15cm以下) DID=10.5km以下 二次単算 No.27
				アス殻処理費	0.115 t ×	円 =	円	アスファルト塊 再生 昼間 R5.12札幌市単価
				上層道床バラスト工	0.18 m3 ×	円 =	円	補充砕石有、器具損料含む 二次単算 No.15
				表層(車道・路肩部)	1 m2 ×	円 =	円	t=5cm 再生密粒度(13)(50%) D=9.0km以下 アスファルト乳剤 二次単算 No.36
				端数処理	1 式	=	円	
					計		円	
22	(夜間) 現地調査点検工	回	円	普通作業員	0.2 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				軌道工	0.1 人 ×	円 =	円	
				端数処理	1 式	=	円	
				計		円		

二次単価算出調書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要			
1	(夜間) 通り整正工 (37kgレール)	m	円	軌道工	0.8 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計	(100m当り)		円			
					(1m当りの単価)		円			
2	(夜間) 通り整正工 (50Nレール)	m	円	軌道工	1.0 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計	(100m当り)		円			
					(1m当りの単価)		円			
3	(夜間) 通り整正工 (分岐部、37kgレール)	組	円	軌道工	1.1 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計			円			
4	(夜間) 通り整正工 (分岐部、50Nレール)	組	円	軌道工	1.6 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計			円			
5	(夜間) むら直し工	m	円	軌道工	2.4 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計	(100m当り)		円			
					(1m当りの単価)		円			
6	(夜間) 軌間整正工 (37kgレール)	m	円	軌道工	2.5 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計	(100m当り)		円			
					(1m当りの単価)		円			
7	(夜間) 軌間整正工 (50Nレール)	m	円	軌道工	2.7 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計	(100m当り)		円			
					(1m当りの単価)		円			
8	(夜間) 軌間整正工 (分岐部、37kgレール)	組	円	軌道工	1.4 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計			円			
9	(夜間) 軌間整正工 (分岐部、50Nレール)	組	円	軌道工	1.8 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計			円			
10	(夜間) 道床突き固め工	m	円	軌道工	6.5 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				諸雑費(率+まるめ)	1 式	=	円		労務費×3%	
				計	(100m当り)		円			
					(1m当りの単価)		円			
11	(夜間) 道床突き固め工 (分岐部)	組	円	軌道工	2.7 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				諸雑費(率+まるめ)	1 式	=	円		労務費×2%	
				計			円			
							円			
12	(夜間) レール交換工	m	円	軌道工	5.4 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				端数処理	1 式	=	円			
				計	(100m当り)		円			
					(1m当りの単価)		円			
13	(夜間) レール頭部溶接工	箇所	円	土木一般世話役	0.70 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛		
				溶接工	1.40 人 ×	円 =	円			
				普通作業員	1.40 人 ×	円 =	円			
				電気溶接機運転	2 日 ×	円 =	円		三次単算 No.1	
				諸雑費(率+まるめ)	1 式	=	円			労務費×5%
				計	(10箇所当り)	=	円			
	(1箇所当りの単価)		円							

二次単価算出調書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要	
14	(夜間) 断面修復工 (0.1m3以下の場合)	m3	円	土木一般世話役	1.9 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R5.12建設物価 労務費×9%
				特殊作業員	3.2 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	2.1 人 ×	円 =	円	
				ポリマーセメントモルタル	1 m3 ×	円 =	円	
				諸雑費(率+まるめ)	1 式	=	円	
計			円					
15	(昼間) 上層道床バラスト工	m3	円	切込砕石0~40	100 m3 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 三次単算 No.4 三次単算 No.6
				普通作業員	23 人 ×	円 =	円	
				振動ロー70.5~0.6t	1.40 日 ×	円 =	円	
				振動コンパクター締固め	10 m3 ×	円 =	円	
				端数処理	1 式		円	
				計 (100m3当り)			円	
(1m3当りの単価)			円					
16	(夜間) 上層道床バラスト工	m3	円	切込砕石0~40	100 m3 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 三次単算 No.5 三次単算 No.7
				普通作業員	23 人 ×	円 =	円	
				振動ロー70.5~0.6t	1.40 日 ×	円 =	円	
				振動コンパクター締固め	10 m3 ×	円 =	円	
				端数処理	1 式		円	
				計 (100m3当り)			円	
(1m3当りの単価)			円					
17	(昼間) 通り正整工	m	円	軌道工	0.8 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1 式	=	円	
				計 (100m当り)			円	
(1m当りの単価)			円					
18	(昼間) むら直し工	m	円	軌道工	2.4 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1 式	=	円	
				計 (100m当り)			円	
(1m当りの単価)			円					
19	(昼間) 軌間正整工	m	円	軌道工	2.5 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1 式	=	円	
				計 (100m当り)			円	
(1m当りの単価)			円					
20	(昼間) 道床突き固め工	m	円	軌道工	6.5 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 労務費×3%
				端数処理	1 式	=	円	
				計 (100m当り)			円	
(1m当りの単価)			円					
21	(昼間) 舗装版切断工 (アスファルト舗装版t=15以下)	m	円	コンクリートカッター損料	0.65 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R5.12建設物価・積算資料
				特殊作業員	0.65 人 ×	円 =	円	
				土木一般世話役	0.33 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.33 人 ×	円 =	円	
				カッターブレード損料	0.25 枚 ×	円 =	円	
				ガソリン	8.45 L ×	円 =	円	
				端数処理	1 式		円	
				計 (100m当り)			円	
(1m当りの単価)			円					

二次単価算出調書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要	
22	(夜間) 舗装版切断工 (アスファルト舗装 版t=15以下)	m	円	コンクリートカッター損料	0.650 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R5.12建設物価・積算資料
				特殊作業員	0.650 人 ×	円 =	円	
				土木一般世話役	0.330 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.330 人 ×	円 =	円	
				カッターブレード損料	0.250 枚 ×	円 =	円	
				ガソリン	8.45 L ×	円 =	円	
				端数処理	1 式	=	円	
				計	(100m当り)		円	
	(1m当りの単価)		円					
23	(昼間) 泥水処理工	m	円	現場発生品運搬費	1.00 回 ×	円 =	円	クレーン装置付2t積2t吊 20km以下 0.3t超0.5t以下 三次単算 No.2 泥水 含水率>85% 非再生 エコパーク 発生量=50/m
				処理費	0.5 t ×	円 =	円	
				端数処理	1 式	=	円	
				計	(100m当り)		円	
					(1m当りの単価)		円	
24	(夜間) 泥水処理工	m	円	現場発生品運搬費	1.00 回 ×	円 =	円	クレーン装置付2t積2t吊 20km以下 0.3t超0.5t以下 三次単算 No.3 泥水 含水率>85% 非再生 エコパーク 発生量=50/m
				処理費	0.5 t ×	円 =	円	
				端数処理	1 式	=	円	
				計	(100m当り)		円	
					(1m当りの単価)		円	
25	(昼間) 舗装版破碎工 10cm以下、障害 物無し、騒音対策 不要、積込作業有	m2	円	バックホウ損料	0.300 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 建設物価機械賃貸 R5.12建設物価・積算資料
				土木一般世話役	0.200 人 ×	円 =	円	
				特殊運転手	0.200 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.200 人 ×	円 =	円	
				軽油(1・2号)	11.760 L ×	円 =	円	
				端数処理	1 式	=	円	
				計	(100m2当り)		円	
					(1m2当りの単価)		円	
26	(夜間) 舗装版破碎工 10cm以下、障害 物無し、騒音対策 不要、積込作業有	m2	円	バックホウ損料	0.300 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 建設物価機械賃貸 R5.12建設物価・積算資料
				土木一般世話役	0.200 人 ×	円 =	円	
				特殊運転手	0.200 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.200 人 ×	円 =	円	
				軽油(1・2号)	11.760 L ×	円 =	円	
				端数処理	1 式	=	円	
				計	(100m2当り)		円	
					(1m2当りの単価)		円	
27	(昼間) 舗装版破碎、機械 搬運(騒音不要・15cm 以下)、 DID=10.5km以下	m3	円	ダンプトラック10t積級	7.58 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4機械損料+消耗品損料 R5.12建設物価・積算資料
				一般運転手	6.11 人 ×	円 =	円	
				軽油(1・2号)	421.5 L ×	円 =	円	
				端数処理	1 式	=	円	
				計	(100m2当り)		円	
	(1m2当りの単価)		円					
28	(夜間) 舗装版破碎、機械 搬運(騒音不要・15cm 以下)、 DID=10.5km以下	m3	円	ダンプトラック10t積級	7.58 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4機械損料+消耗品損料 R5.12建設物価・積算資料
				一般運転手	6.11 人 ×	円 =	円	
				軽油(1・2号)	421.5 L ×	円 =	円	
				端数処理	1 式	=	円	
				計	(100m2当り)		円	
	(1m2当りの単価)		円					
29	(昼間) 床掘り 土砂、現場制約あり	m3	円	普通作業員	0.42 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				端数処理	1 式	=	円	
				計			円	

二次単価算出調書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要		
30	(夜間) 床掘り 土砂、現場制約あり	m3	円	普通作業員	0.42 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛	
				端数処理	1 式	=	円		
				計			円		
31	(夜間) 表層(車道・路肩部) t=4cm、再生細粒度(13)(100%)、 D=9.0km以下、ア スファルト乳剤	m2	円	振動ロー0.5～0.6t	0.56 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛	R4建設機械等損料表
				振動コンパクター	1.31 日 ×	円 =	円		R4建設機械等損料表
				特殊作業員	2.34 人 ×	円 =	円		
				普通作業員	1.88 人 ×	円 =	円		
				土木一般世話役	0.47 人 ×	円 =	円		
				アスファルト合材	10.4 t ×	円 =	円	0.0026t × 40mm	
				アスファルト合材 (夜間割増)	10.4 t ×	円 =	円	0.0026t × 40mm	
				アスファルト乳剤	42.94 L ×	円 =	円		
				ガソリン	2.35 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料	
				軽油(1・2号)	0.62 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料	
				端数処理	1 式		円		
				計	(100m2当り)		円		
					(1m2当りの単価)		円		
32	(夜間) 基層(車道・路肩部) t=5cm、再生粗粒 度(20)(50%)、ア スファルト乳剤	m2	円	振動ロー0.5～0.6t	0.58 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛	R4建設機械等損料表
				振動コンパクター	1.26 日 ×	円 =	円		R4建設機械等損料表
				特殊作業員	2.34 人 ×	円 =	円		
				普通作業員	1.88 人 ×	円 =	円		
				土木一般世話役	0.47 人 ×	円 =	円		
				アスファルト合材	13 t ×	円 =	円	0.0026t × 50mm	
				アスファルト合材 (夜間割増)	13 t ×	円 =	円	0.0026t × 50mm	
				アスファルト乳剤	126.07 L ×	円 =	円		
				ガソリン	2.27 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料	
				軽油(1・2号)	0.8 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料	
				端数処理	1 式		円		
				計	(100m2当り)		円		
					(1m2当りの単価)		円		
33	(夜間) 基層(車道・路肩部) t=4cm、再生粗粒 度(20)(50%)、ア スファルト乳剤	m2	円	振動ロー0.5～0.6t	0.57 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛	R4建設機械等損料表
				振動コンパクター	1.28 日 ×	円 =	円		R4建設機械等損料表
				特殊作業員	2.35 人 ×	円 =	円		
				普通作業員	1.88 人 ×	円 =	円		
				土木一般世話役	0.47 人 ×	円 =	円		
				アスファルト合材	10.4 t ×	円 =	円	0.0026t × 40mm	
				アスファルト合材 (夜間割増)	10.4 t ×	円 =	円	0.0026t × 40mm	
				アスファルト乳剤	42.88 L ×	円 =	円		
				ガソリン	2.36 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料	
				軽油(1・2号)	0.77 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料	
				端数処理	1 式		円		
				計	(100m2当り)		円		
					(1m2当りの単価)		円		

二次単価算出調書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要	
34	(夜間) 上層路盤(車道・路肩部) t=6cm、As安定処理材(30)(100%)、D=9.0km以下、アスファルト乳剤	m2	円	振動ロー70.5～0.6t	0.57 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4建設機械等損料表
				振動コンパクター	1.32 日 ×	円 =	円	R4建設機械等損料表
				特殊作業員	3.0 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	2.0 人 ×	円 =	円	
				土木一般世話役	0.5 人 ×	円 =	円	
				アスファルト合材	15.6 t ×	円 =	円	0.0026t × 60mm
				アスファルト合材 (夜間割増)	15.6 t ×	円 =	円	0.0026t × 60mm
				アスファルト乳剤	126.03 L ×	円 =	円	
				ガソリン	2.5 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				軽油(1・2号)	0.86 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				端数処理	1 式		円	
				計 (100m2当り)			円	
(1m2当りの単価)			円					
35	(夜間) 上層路盤(車道・路肩部) t=5cm、As安定処理材(30)(100%)、D=9.0km以下、アスファルト乳剤	m2	円	振動ロー70.5～0.6t	0.56 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4建設機械等損料表
				振動コンパクター	1.29 日 ×	円 =	円	R4建設機械等損料表
				特殊作業員	2.34 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	1.88 人 ×	円 =	円	
				土木一般世話役	0.47 人 ×	円 =	円	
				アスファルト合材	13 t ×	円 =	円	0.0026t × 50mm
				アスファルト合材 (夜間割増)	13 t ×	円 =	円	0.0026t × 50mm
				アスファルト乳剤	125.89 L ×	円 =	円	
				ガソリン	2.37 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				軽油(1・2号)	0.63 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				端数処理	1 式		円	
				計 (100m2当り)			円	
(1m2当りの単価)			円					
36	(昼間) 表層(車道・路肩部) 昼間1層(構内)、t=5cm、再生密粒度(13)(50%)、D=9.0km以下、アスファルト乳剤	m2	円	振動ロー70.5～0.6t	0.57 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4建設機械等損料表
				振動コンパクター	1.25 日 ×	円 =	円	R4建設機械等損料表
				特殊作業員	2.34 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	1.88 人 ×	円 =	円	
				土木一般世話役	0.47 人 ×	円 =	円	
				アスファルト合材	13 t ×	円 =	円	0.0026t × 50mm
				アスファルト乳剤	126.01 L ×	円 =	円	
				ガソリン	2.24 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				軽油(1・2号)	0.64 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				端数処理	1 式		円	
				計 (100m2当り)			円	
				(1m2当りの単価)			円	
37	(夜間) 側溝蓋撤去・設置	枚	円	土木一般世話役	0.3 人 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛
				普通作業員	1.4 人 ×	円 =	円	
				端数処理	1 式		円	
				計	100枚		円	
				1枚当たり		円		

三次単価算出調書

番号	細目	単位	単価	算出の基礎			摘要	
1	(夜間) 電気溶接機運転	日	円	軽油(1・2号)	32 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				電気溶接機(ディーゼルエンジン付)	1.0 日 ×	円 =	円	排出ガス対策型(第1次) 最大溶接電流300A R4建設機械等損料表
				計			円	
2	(昼間) 現場発生品運搬費 クレーン装置付、 2t積、吊能力2t(参考)	回	円	2tトラック	0.0167 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4建設機械等損料表
				特殊運転手	0.014 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.015 人 ×	円 =	円	
				軽油(1・2号)	0.3317 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				端数処理	1 式	=	円	
計			円					
3	(夜間) 現場発生品運搬費 クレーン装置付、 2t積、吊能力2t(参考)	回	円	2tトラック	0.0167 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4建設機械等損料表
				特殊運転手	0.014 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.015 人 ×	円 =	円	
				軽油(1・2号)	0.3317 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				端数処理	1 式	=	円	
計			円					
4	(昼間) 振動ロー(ハンドガイト式) 0.5~0.6t	日	円	特殊作業員	1.0 人 ×	円 =	円	
				軽油(1・2号)	5.9 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				振動ロー0.5~0.6t	1.0 日 ×	円 =	円	R4建設機械等損料表
				端数処理	1 式		円	
計			円					
5	(夜間) 振動ロー(ハンドガイト式) 0.5~0.6t	日	円	特殊作業員	1.0 人 ×	円 =	円	
				軽油(1・2号)	5.9 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				振動ロー0.5~0.6t	1.0 日 ×	円 =	円	R4建設機械等損料表
				端数処理	1 式		円	
計			円					
6	(昼間) 振動コンパクター 締固め	m3	円	振動コンパクター	0.0413 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4建設機械等損料表
				特殊作業員	0.03 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.03 人 ×	円 =	円	
				ガソリン	0.149 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				端数処理	1 式	=	円	
計			円					
7	(夜間) 振動コンパクター 締固め	m3	円	振動コンパクター	0.0413 日 ×	円 =	円	当社制定策定歩掛 R4建設機械等損料表
				特殊作業員	0.03 人 ×	円 =	円	
				普通作業員	0.03 人 ×	円 =	円	
				ガソリン	0.149 L ×	円 =	円	R5.12建設物価・積算資料
				端数処理	1 式	=	円	
計			円					